ロッパにおいては、領主が住むお城ができてから。米国については大陸横断鉄道ができて以来の100年、200年という単位です。また、中国は歴史は古いのですが、インフラの確立という意味では、王朝が変わるたび破壊を繰り返しているので、今の中国のアイデンティティは、中国共産党が政権を確立してからということになります。それに対して、日本は古いアイデンティティが確立されている国です。天皇制が確立してから千年単位での蓄積があり、長い期間にわたり、淘汰と選択を経た文化をもっています。

国際化という言葉は、グローバルとインターナショナルという2つの意味をもちます。グローバルが意味する所は、単一のルールです。全ての国々が一つの規則や規準の下に入るということです。これに対して、インターナショナルは、ナショナル（国民国家）をまたぐ、つなぐという意味です。それぞれの国が代表を出し、協議体制の下に国際的な取り決めをしていく、ということです。私たちが目指すべきは、インターナショナルであり、日本は日本の文化的背景をもとにして、日本の持ち味を生かしながら、国際社会の中で主張するところは主張し、また、自国の優れた所は、世界各国に広めていくべきなのです。

（次号に続く…）

INFORMATION

■明るい日本を創る座談会

熊谷市小島地区
2月25日(火)15:00～
手打蕎麦やじまにて　熊谷市小島120
→詳細は事務所までご一報ください。

■街頭演説

2月23日(日)
11:00～八木橋東口前
11:20～熊谷駅北口
11:45～埼玉りそな銀行行田支店前
12:20～羽生市中央三丁目交差点
12:50～加須市役所入口交差点
→日時は都合により変更する場合があります。

活動報告

街頭にて
各地にて（熊谷→行田→羽生→加須）　1/19

座談会
熊谷市籠原地区
タリーズコーヒーにて　1/15

地域でがんばる人をご紹介!!
地元のがんばりスト
Gambarist

「ニャオざね」の生みの親！
ことなさん（熊谷市）

「ニャオざね」と共に！

今回は、熊谷市奈良地区にお住まいのイラストレーター、ことなさんを訪ねました！熊谷市のキャラクターであるニャオざねの生みの親です！

私自身はことなさんより前に、お父様とのご縁をいただきました。熊谷青年会議所で親子や地域の問題に関するフォーラムを行った時、コーディネーターとして力を貸していただきました。当時、熊谷市で中学生によるホームレス殺人事件が発生し、元教師のお父様は、青少年を取り巻く問題を多面的にとらえ、分析されており、大変勉強になりました。

ご自宅が仕事場です。

ことなさんがイラストレーターの道に入ったのは、そのお父様が急逝されたことがきっかけです。限られた人生、やりたいことをやらないと、ということでそれまで勤めていた印刷会社を退職し、独立したとのことでした。私自身、NPOで開催したイベントのマスコットを描いてもらったり、介護施設のイメージ図を描いてもらったりと、お世話になってきました。今では、ニャオざねのこともあり、熊谷を代表するイラストレーターとして活躍されています。これからも、地域の皆さんを癒し続けてくださいね～！！

トートバックも近日発売！！